

【小学校 算数】

全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

1 平均正答率等について

本市の小学校算数の平均正答率は58%で、全国、県の平均正答率と同じとなっています。「図形」、「測定」の2領域において全国の平均正答率を上回りました。しかし、「数と計算」、「変化と関係」、「データの活用」の3領域において全国の平均正答率を下回りました。

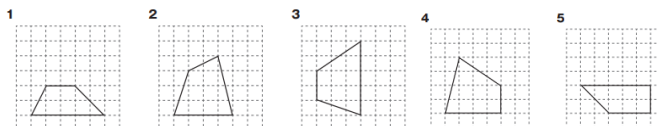
2 特徴が見られた問題

②(2)では、台形の意味や性質について理解しているかをみる問題です。本市の平均正答率(58%)が全国の平均正答率(50.2%)、県の平均正答率(56.2%)と比べ△7.8%、△1.8%上回り、台形の意味や性質について理解できていることができる児童が多いと考えられます。

③(2)では、本市の平均正答率(21.8%)が全国の平均正答率(23%)、県の平均正答率(23.2%)と比べ▼1.2%、▼1.4%下回っています。分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加える数や加えられる数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題です。③(4)は異分母の分数の加法の計算をすることができるかをみる問題で、79.4%の児童が正解することができており、多くの児童が正しく計算することができていることが分かります。このことから、計算の仕方は理解できていますが、計算の仕方について理解し、表現することができていないと考えられます。

④(4)では、本市の平均正答率(35.5%)が全国の平均正答率(40.9%)、県の平均正答率(38.7%)と比べて、▼5.4%、▼3.2%下回り、割合の表現が用いられている場面において、二つの数量の関係について、表現の意味を正しく解釈することができていない児童が多いと考えられます。解答類型を分析すると、「10%増量」について百分率で表された10%を0.1と捉えることはできているが、「増量後の量」が「増量前の量の」110%や1.1倍となることを捉えることができていないと考えられます。

②(2) わかなさんは、方眼紙に下の1から5までの中で台形はどれですか。3つ選んでその番号を書きましょう。



③(2) ～ 省略 ～

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じにして考えることができます。もとにする数を同じにすると、その数はいくらになりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉で書きましょう。

④(2) 家に帰ったあさひさんは、詰め替え用のハンドソープがのっている広告を見ました。広告には、詰め替え用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前の詰め替え用のハンドソープの量は800mLです。増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。⑦にあてはまる数を下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.1 2 1.1 3 10 4 110



3 これからの学習に当たって

「変化と関係」の領域においては、伴って変わる二つの数量を見だし、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察するような指導が必要であると考えます。

「数と計算」の領域においては、異分母の分数の加法について、分母を通分することで共通する単位を見だし、単位分数の幾つ分とみることで、整数の加法に帰着することに気付くことができるようにするなど、既習事項と結び付けた指導が必要であると考えます。

「図形」の領域では、昨年度まで、全国平均を下回っていましたが、今年度は△3.1%上回りました。今後も、実際に図形を操作したり、ICT機器を活用して図形を捉えたりする学習等を通して、図形について豊かな感覚を身に付けていくことが大切だと考えます。